



学校名 [ 遠見塚小学校 ] 氏名 [ 前 川 武 則 ] [小] 学校 [ 1・2・3 ] 年版 単元名 [ ぼうさいリュックを用いしよう ] P 40～41 教科・領域名 [ 学級活動 ] [ 時間 45分 ]	
主な学習活動 (実際に行った活動)	指導の実際
<p><b>【ねらい】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もしものに備えて、必要なものを考え、防災意識を高める。</li> </ul> <p><b>1 地震で困ることを考える。</b></p> <p>○大きな地震になると、どんな困ったことがあるかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガス、水道、電気が止まる ・家が壊れる</li> <li>・津波が来る ・お店が閉まる</li> </ul> <p><b>2 何に入れておくかを考える。</b></p> <p>○もしものために必要なものを何に入れておくかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リュックサック ・段ボール ・リビング</li> </ul> <p><b>3 リュックにいれておくものを考える。</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                 防災リュックにいれておくものを考えよう。             </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水 ・食べ物・着替え・ラジオ・懐中電灯・薬</li> </ul> <p><b>4 考えたものを発表する。</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気が止まっていると、夜に真っ暗になってしまうので、懐中電灯を入れます。</li> <li>・お店が閉まっていると食べ物が買えないので、食べ物を入れます。</li> <li>・けがをすると困るので、薬や救急箱を入れます。</li> <li>・水がないと生きていけないので、水筒やペットボトルを入れます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(一斉指導) 身内に震災の被害に遭った児童がいたので、配慮をする。具体的には、大震災時のことのみでなく、一般的に考えるようにさせた。</li> <li>・(一斉指導) ①リュック ②段ボールに入れて押し入れに置く ③リビングに広げておく の3択で選ばせた。</li> <li>・(個人) 電気やガス・水道が止まっている、店も閉まっている、また地震がきたら避難しなければならぬ状況であることを確認する。 ※ワークシートに記入させる。</li> <li>・(一斉指導) 入れようと思う物となぜそれを選んだのかを発表させた。</li> </ul> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div>

### 5 防災リュックに入れた方がいいものを紹介する。

○校内に掲示してある防災関係の掲示を使って、防災リュックに入れておいた方がよいものを確認する。

みなさんが考えたほかにも入れたおいた方がいいものがあります。

#### 「食品用ラップ」

食べ物を包んだり、お皿の代わりになったりすることはもちろん、体に巻き付けると保温効果があり、寒さから体を守ることができます。

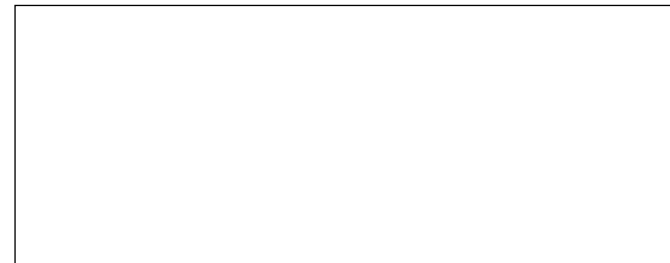
#### 「ホイッスル」

助けを呼ぶために大きな声を出すには、体力がたくさんいります。ホイッスルをふくと大声を出すより体力がいりません。

### 6 「わが家の防災リュック」について考える。

○今日自分たちが考えた、防災リュックについて、家の人も相談することを考える。

### 7 まとめ



保健室前の掲示コーナー

・子供たちの考えたもののほかにも入れておいた方がいいもの、注意すべき点などを紹介した。



・ワークシートに保護者と一緒に記入する欄（「防災リュックの置き場所」「もしものときのわが家の約束」）を設け、家族で防災について話し合う機会を持つてほしいと考えた。

〈学習を振り返って〉

- ・ワークシートの下半分を家族と一緒に記入する課題とした。「防災リュックの置き場所」「地震のときのわが家の約束」について家族で話し合ってもらうことにより、児童だけでなく、家族全員に防災意識を持ってもらいたいと考えた。
- ・今回の授業は、防災リュックにどんなものを入れるかという正しい知識を得るといよりも、もしものときに備える必要があること、家族全員で防災について話し合うことの大切さを伝えることを主眼とした。
- ・ワークシートに家族と話し合っ書ける欄を設け、課題としたが、事前に学習の内容と協力の依頼を学年便りで保護者に伝えた。
- ・防災の掲示コーナーは、養護教諭の協力を得て、保健室前に全校児童向けに掲示している。防災グッズのほかに、救急箱の中に入れておいた方がいいものなども紹介している。